

平成28～31年度 中学校で使用する教科用図書の採択結果

第8回教育委員会定例会(平成27年8月5日)において、次のとおり採択されました。

教科(種目)	発行者	採 択 理 由
国語	光村図書出版(株)	単元の扉に単元名と単元目標を示しており、季節感のある写真を載せている。字体や文字の大きさに工夫が見られる。 古文と現代語訳は上下に分けて記載されている部分と、古文の横に色を変えて現代語訳が書き込まれている部分がある。 教材の初めに学習の流れや、これまでの学習との関連が記載されている。また、教材の終わりには、振り返りの観点が記載されている。
書写	東京書籍(株)	日常生活における書体の具体例が、写真とともに分かりやすく示されている。 教材の右側に筆の動きのパターンと形の特徴が示されており、筆やペンなどの運び方が視覚的に分かる。 学習や日常生活と関連付けがなされた単元の数が、全学年とも5つずつあり、最も多い。
社会(地理)	日本文教出版(株)	各章の終わりのページに「学習の活用」と小単元の終わりのページに「学習のまとめ」の課題を記載している。 小単元のまとめは、「学習の確認と活用」という形で整理できるようにされている。また、単元の終わりは、地図でのまとめ、重要語句のリストアップ、図式化したまとめで整理されている。
社会(歴史)	東京書籍(株)	索引に示されている人名の数は346である。そのうち現代で扱われている人物の数は46である。また、国宝、重要文化財、世界遺産の資料にマークをつけることにより文化遺産を示している。神話・伝承等に関する事例数は5である。 歴史を調べる手順や方法について、「課題の設定」、「調査」、「調査結果の考察」、「まとめ・発表」、「ふりかえり」について説明している。また、「まとめ・発表」については、年表、レポート、プレゼンテーションソフト、イラストマップ、ウェブページを示している。 まとめにおいて「確認」のコーナーを設けている。
社会(公民)	日本文教出版(株)	「地域の名物を見つけよう」で見つけた地域の魅力を発信することの有効性を記載している。 「チャレンジ公民」「アクティビティ」「明日に向かって」のコーナーで30テーマが設けられており、グラフ作成などの活動・話し合い活動が記載されている。 絵図、写真等の掲載は271点である。それぞれに脚注が記載されている。
地図	(株)帝国書院	地図を見る際の着眼点を示した「地図をみる目」の表示や、言語活動などを促す「やってみよう」のコーナーを設けている。 キャラクターによる設問などは使わず、統一して「地図をみる目」と「やってみよう」の設定を入れている。
数学	東京書籍(株)	章末に全国学力・学習状況調査で課題が見られる事柄や事実、方法、理由を説明する記述式の問題を取り上げている。 章末に学び合いのページを設定し、側注に問題解決の進め方を明示している。また、巻末では社会や職業における数学の活用を取り上げている。 式や図や表などを使って、考え方を説明し伝え合い深めていくような言語活動を取り入れた課題を設けている。

理科	東京書籍(株)	<p>巻頭・巻末や単元末、各内容の導入部分において、身の回りの事象について考える場面を設け、興味・関心を高め主体的に取り組める構成である。</p> <p>各学年に応じた課題解決の過程を詳しく示している。結果のまとめ方や考察の書き方を詳しく説明している。また、結果が仮説通りにいかない場合の話合いの仕方も示している。どの学年でも、課題解決の方法を振り返りやすくしている。</p> <p>実験の目的、結果の見方、考察のポイント、キャラクターの吹き出しにより、分析・解釈する視点を示している。</p>
音楽 (一般)	(株)教育芸術社	<p>音楽学習MAPの「学習の窓口」において、[共通事項]で示されている音楽を形づくっている要素をマークで示し、該当ページの学習目標の横に同マークを示している。</p> <p>ワークシートに工夫があり、「ここに注目してみよう!」において、音の高さの変化について聴き取ったことや音楽が変化した理由について記述する欄を設定している。</p>
音楽 (器楽)	(株)教育芸術社	<p>音楽学習MAPにおいて、学習指導要領に示されている学習内容と各教材との関係などを図で示し、目標を掲げている。</p> <p>各楽器の構造や種類、姿勢と構え方、奏法等を写真や図で示すと共に、「和楽器こぼれ話」「音を聴いて確かめよう」のコーナーを設け、和楽器の特徴や音等について説明している。</p> <p>「アンサンブルセミナー」(器楽・創作)において、グループアンサンブルの中で工夫する視点を挙げると共に、具体的な学習活動を手順に沿って示している。</p>
美術	光村図書出版(株)	<p>折込ページに図画工作との関連や日常生活との関連を示し、大型図版には作品に関連した詩を載せて思考させながらより深く鑑賞させようとしている。</p> <p>日本美術を自然と人との関わりの視点でとらえ、詩をつかって意識できる題材を設定している。美術館の役割を理解し、鑑賞活動を深め、レポートを作成する方法が示されている。</p>
保健体育	東京書籍(株)	<p>1年生で学習する単元では、単元目標が小学校の内容と関連付けて示されている。</p> <p>また、基本用語が『キーワード』として示され、重要語句は文章の中で太字になっている。各章末に知識の習得を確認する「確認の問題」「活用の問題」を設けている。</p>
技術・家庭 (技術)	東京書籍(株)	<p>小項目ごとに目標が2点箇条書きで示されている。</p> <p>「技術の匠」マークを付け、伝統的な文化が示されている。</p> <p>持続可能な社会に関することが見開きで2ページ示されている。</p> <p>使用マーク数は17種類。「他教科」「小学校」マークは、関連する中学校他教科や小学校の既習事項を示している。</p>
技術・家庭 (家庭)	開隆堂出版(株)	<p>学習の参考となる資料や解説を「参考」のマークで、他の学習項目や技術分野などとの関連については「リンク」のマークで表している。また、学習を深めたり広げたりして、さらに探究していく内容については「探究」マークで示している。</p> <p>「生活の課題と実践」の中で結果をまとめる工夫を示している。</p> <p>巻末資料に言語活動の進め方のプロセス図を示している。</p>

英語	(株)三省堂	<p>4領域のバランスを重視した言語活動の充実を図っている。既習文法が後の単元で使用されている。また、Projectという単元を設け、各Lessonで学んだ言語材料を生かして総合的な活動ができる単元を配置している。</p> <p>For Self-studyという単元を設けて辞書の活用の仕方や学習法など自学自習のヒントを提供している。</p> <p>巻末語彙リストにおいて、類義語のニュアンスの違いについて説明している。</p>
----	--------	---